



## 中野慎詞選手(紫波総合高2年)が快挙 ～アジアジュニア自転車競技選手権 チーム・スプリントで優勝～



熊谷町長から「東京オリンピックでの活躍を期待しています」と激励を受けた中野さん(左)

紫波総合高校2年生の中野慎詞さんが、2月6～10日にインドで行われたアジアジュニア自転車競技選手権トラックレースに出場。1チーム3人で競うチーム・スプリントでジュニア日本新記録となる46秒936のタイムで優勝しました。このほか3種目でも入賞を果たし、3つのメダルを手に凱旋した中野さんは、2月21日に熊谷町長のもとを訪問。「苦手だったスタートダッシュをずっと練習してきたので、第1走として挑んだチーム・スプリントで優勝できてうれしかったです」と喜びを語り、「積極的にレースを仕掛けていかないと海外では勝てないということが分かりました。東京オリンピックやその後のオリンピックでメダルを獲ることが目標です」と今後ますますの活躍を誓いました。



見事優勝を果たしたチーム・スプリントで、先頭を走る様子(提供:(公財)日本自転車競技連盟 Kenji NAKAMURA)



スプリントで第2位に輝き、表彰台で笑顔を見せる中野さん(左)(提供:(公財)日本自転車競技連盟)

### 中野選手の成績

- 団体種目
  - チーム・スプリント … 優勝
  - 4kmチーム・パーシュート …… 3位
- 個人種目
  - スプリント …… 2位
  - ケイリン …… 7位

## 宝くじ助成金で 紫野公民館を新築



宝くじ助成事業(コミュニティセンター助成事業)を活用し、紫野公民館(赤沢)が自治公民館を新築しました。活力と潤いのある地域社会の実現を目指し、地域のふれあいの場として活用されます。この助成事業は、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として行っているものです。

■問合せ 企画課 協働広報室

☎672-2111 内線2311



## 赤沢に伝わる義経伝説 を町民有志が熱演



延べ700人が町民有志の皆さんの演技に魅了されました

紫波町民劇場(藤尾充代表)第6回公演『義経の春』は2月26日、中央公民館集會室で午前と午後の2回上演されました。物語は、町の郷土史研究家であった故・遠山英志さんの著書『義経の春』をもとに、義経が青年期を赤沢で過ごしたという伝説を描いたもの。舞台は赤沢村の奥深くにある蓮華寺で、寺の僧たちとの修行を行う日々や、村に現れた山賊・鷹取との友情、村に住む娘・お春との恋など、義経の青春時代が描かれました。また、劇中では赤沢地区の船久保さんさ踊りが披露され、優美な踊りで会場を盛り上げました。脚本を手掛けた澤口たまみさんは「セリフを発するキャストや、大道具などを担当するスタッフなど、さまざまな人の努力があって完成した作品です。皆さんには感謝しかありません」と語っていました。



指導者たちから運動の効果やコツを教わりながら  
体操を行う参加者たち

## 介護予防を実践 ころ 転ばん教室

町は1月から2月にかけて「出張!介護予防講座 転ばん教室」を日詰公民館と志和公民館で各4回ずつ開きました。指導に当たったのはシルバーリハビリ体操指導者の資格を持つ「いきいき健康推進隊(長谷川良久隊長)」の皆さん。志和公民館で2月14日に行われた講座には16人が参加。認知症の予防方法に関する話を聞いた後、足腰や肩周りに効果のある運動を行いました。長谷川会長は「自分の健康に問題意識を持っている皆さんの助けになりたいという思いで指導しています。いきいき健康推進隊として活動してくれる仲間がもっと増えて、町内全域で活動できるようになれば」と今後の展望を話していました。



熊谷町長(右)に受賞を報告した加藤会長(中央)と  
古舘事務局長(左)(2月7日)

## 環境学習の取り組みが評価 川を知る会が栄えある受賞

川を知る会(加藤正規会長)が、アイーナ(盛岡市)で1月28日に開かれた「いわて水と緑の交流フォーラム」で、平成28年度岩手県環境保全活動表彰を受けました。北上川での「環境学習川下り」を通じた水生生物調査や環境学習などの取り組みが評価され、水環境・水資源の部での受賞。同会は平成13年に結成され、約50人の会員が活動しています。加藤会長と古舘雅晴事務局長は「私たちの活動の特徴は、川下りを楽しむだけでなく、水の流れや水辺の植物、安全対策について学ぶことができることです。今後も子どもたちに町の歴史などを教えながら、川下りを続けていきます」と活動の継続を誓っていました。

## 100歳 おめでとう

町内の100歳以上のご長寿は川守さん、齋藤さん、多田さんを含めて19人です。(2月3日時点)

### 川守 藤吉さん(赤石) 1/18



熊谷町長から花束を受け取った川守さん(右)

長寿の秘訣は「好き嫌いをしないことと適度な運動」という川守さん。熊谷町長に、九死に一生を得た戦争体験や、旧国鉄や保険会社で勤務した際に数々の表彰を受けたことをはきはきとした口調で話しました。町長は「激動の時代を生きてこられたことは町の誇りです。これからも元気に暮らしてください」とお祝いの言葉を贈りました。

### 齋藤 ハナさん(日詰) 1/22



三食しっかり食べることが長寿の秘訣  
という齋藤さん

大きな病気にかかったり薬を飲んだりすることもないという、お元気な齋藤さん。熊谷町長の訪問に少し緊張気味でしたが、100歳を迎えた感想を聞かれると「皆さんの後押しがあってここまで来ることができました。これからも地域や家族のために頑張っていきたいです」とはっきりと抱負を話しました。

### 多田 タヨ子さん(佐比内) 2/3



家族との日常について、冗談を交えながら  
話す多田さん(右から2番目)

友達と話すことが大好きという多田さんは、長寿の秘訣を「歩いて生活すること」と話します。熊谷町長から町内の最高齢者が105歳と聞くと「負けないように頑張ります」と笑顔で話し、「100歳を迎えるまでに苦労もありましたが、家族との穏やかな今の生活に感謝しています」と幸せを噛み締めていました。